

創立：1980年(昭和55年)1月10日 事務局：460-0008
会長：関谷 俊征 名古屋市中区栄1丁目3-3 AMMNATビル7F
幹事：鈴木 淑久 TEL：052-211-3803
広報委員長：鳥山 政明 FAX：052-211-2623
例会日：毎週木曜日PM12:30～ MAIL：27601nagoya@mizuho-rc.jp
会場：ビルト名古屋 UR：http://www.mizuho-rc.jp/

2019-20年度
名古屋瑞穂ロータリークラブ
会長のテーマ
「50年に向けて新たな第一歩、
会員相互の理解を深めよう!」

2019-20年度
国際ロータリーのテーマ
ロータリーは世界をつなぐ
(ROTARY CONNECTS THE WORLD)



ROTARY CLUB OF NAGOYA MIZUHO

WEEKLY REPORT

第1906回例会

～職業奉仕月間～
クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2020年1月23日(木) 曇 第25回

司 会：田中宏会場委員長
斉 唱：「四つのテスト」「それでこそロータリー」
ビジター：名古屋名南RC 大橋さなえさん
名古屋RC 大澤和宏さん

会長挨拶

関谷 俊征会長

皆さんこんにちは。全く早いもので後一週間で2月になります。街では恵方巻きのPR看板を目にしますがもう節分の時期という事です。恵方巻きと言えば昨年は大量廃棄が問題になりました。「節分に恵方を向いて無言で食すると縁起が良い」という事ですが、一日限りの食品ですから、売れ残りが多くなるのは必然の結果だと思います。



昨年(2019年)の10月に全国の自治体などに食品ロス削減に向けた計画を策定する努力義務を定めた「食品ロス削減推進法」が施行されました。その関係もあるかと思いますが、先程の恵方巻きであります予約販売を強化してできる限り受注生産に切り替えて売り残りを減らすなど、ロス削減を目指している販売店も今年は多いようです。

日本の食品ロスは年間643万トンです。企業などの事業者と家庭から出る訳ですが国民一人当たりに換算すると毎日茶わん一杯分になるそうでその量は世界中で飢餓で苦しんでいる人への食料援助量の1.7倍にあたるそうです。

日本の穀物の自給率が28%、食料自給率が40%の国です。我国の食品廃棄物の量はアジアではトップ。世界でもトップクラスですから我国の大きな社会問題である事は間違いありません。

何年前かに豊橋のどのクラブか忘れましたが例会に行った時に聞いた話です。

そのクラブは木曜が例会で、出欠の最終確認を例会の前々日の正午までにすると決めているそうです。そして出席の返事をして欠席した場合は、例会の昼食費をニコボックスに入れるという不文律があるそうです。色々な考え方はあるでしょうが食品ロスに対する意味も含んでいるというお話でした。

食の問題は、賞味期限・消費期限という安全の問題もありますから複雑ではありますが食品ロスに関しては私たち国民一人ひとりが減量を心掛けなければならない大事な問題であると思います。

出席報告

安岡克明出席委員

会員70名 出席49名 (出席計算人数53名)

出席率 83.9%

1月16日は補填により81.0%

ニコボックス

安岡克明ニコボックス委員

- ・名南RCから参りました、大橋です。よろしくお願ひします。大橋さなえさん
- ・ぎふ美濃ゴルフクラブの顧問の高木守道さんが亡くなりました。合掌。内田 久利さん
- ・今月は家内の誕生月です。渡辺喜代彦さん
- ・スキー同好会、札幌テイネハイランドスキー場行って来ました。松波先生、鈴木健司さん、山口さんお世話になりました。ありがとうございました!! 湯澤 信雄さん
- ・先日鳥山さん、山口さん、ゴルフおつきあいありがとうございました。長谷川 隆さん
- ・昨日より私共の本店が5連休をいただいておりますが、私自身はまったく休めません。鈴木 淑久さん
- ・今週一週間「講談連続読み」という幸せにひたっております。面白いです。萩原 孝則さん
- ・荻原さんに色々とお教えいただき、講談にはまっています。面白いです。本多 誠之さん
- ・今週は神田松之丞の公演を聴くため、連日大須演芸場に通っています。ご一緒いただいている荻原さん、本多さん、ありがとうございます!! 村瀬 俊高さん

名古屋名南RC大橋さん挨拶

名古屋名南RCから参りました大橋と申します。貴重なお時間をいただきまして、会長はじめ皆様のご厚意、大変うれしく思っております。ウズベキスタンと日本の交流会を来月2月22日(土)の午後6時から開催致します。名古屋市とウズベキスタンのタシケント市は、今年パートナーシップを提携致します。その関係もあり、ファジロフ在日ウズベキスタン大使にもご列席をいただき、名古屋市、市議会、名大関係の皆様にもご列席をいただく予定です。皆様にも是非ご参加をいただければうれしく思います。よろしくお願ひします。

幹事報告

鈴木 淑久幹事

- ・次週1月30日(木) 職場例会が12時30分より熱田神宮会館にて行われます。ご参加の方はよろしくお願ひ致します。
- ・次々週2月5日(水)4RC合同例会が12時から13時40分より名古屋マリオットアソシアホテル16、17階にて名古屋東南RCホストにより開催されます。受付は17階「コスモス」となりますのでお間違えの無いようにお越しく下さい。
- ・1月25日(土)は熱田RAC例会があります。担当は馬場さんと広瀬さんです。

委員会・同好会報告

ゴルフ同好会

ゴルフ同好会より日程のご連絡をいたします。3月11日、4月22日、5月13日を予定しております。後日改めてFAXにてお届けいたしますが、予定を入れておいていただけますようよろしくお願ひします。

スキー同好会

1月17日～19日まで、サッポロテイネスキー場に行って来ました。



第4回クラブフォーラム(中間決算と組織)

収入の部：馬場将嘉会計

時間の都合もございますので、決算部分のみご報告いたします。例会費は今回から初めてこの形とさせていただきます。R財団寄付、米山記念奨学金寄付は今回は一括でのご寄付があったため多くなっております。協力金、会費、例会費、例会費(親睦)、R財団寄付、米山記念奨学会寄付、地区資金関係費、社会奉仕市内25RC分担金、来訪者会費、米山奨学生受入、雑収入等合計致しまして当期収入合計は20,984,832円。前期繰越収支差額は4,502,524円。収入合計は25,487,356円となります。



支出の部：馬場将嘉会計

支出の部その1です。決算の小計部分のみご報告いたします。RI関係は人頭分担金と規定審議会分担金の小計で252,358円。全国関係は、ロータリー財団寄付と米山記念奨学会寄付とロータリーの友購読料をあわせて小計2,101,080円。地区関係は地区資金、地区事業資金、社会奉仕市内25RC分担金、WFFチケット購入費、米山記念奨学金、地区大会登録料、地区大会晩餐会参加義務者負担金、地区研修・協議会参加義務者負担金、ライラセミナー登録料、名古屋姉妹都市協会分担金、地区出向費、小計で2,281,800円。RI関係、全国関係、地区関係をあわせて4,635,238円。例会費小計9,403,806円です。

支出の部その2です。委員会活動費はニコボックス、プログラム、R情報・研修、会員増強、広報、職業奉仕、社会奉仕・環境保全、青少年奉仕、RAC、IAC、ロータリー財団、米山奨学、I.M.実行、小計で1,666,913円でした。

管理費は貸借費、人件費、会議費、通信費、旅費交通費、事務消耗品費、印刷費、雑費、あわせて小計5,686,949円。当期支出合計は21,392,906円です。予備費は0円。当期支出差額は△408,074円です。次期繰越収支差額は4,094,450円です。

ニコボックス収支計算書

次にニコボックスの収支に移ります。収入の部の当期収入合計は1,331,000円、前期繰越収支差額は11,768,271円、収入合計は13,099,271円でした。

支出の部は一般会計への一時貸付金1,000,000円に関しましては、本会計へニコボックスからお金を出したと言うことです。次期繰越収支差額の中には含まれておりませんので括弧に入れてあります。招待チケット代99,000円、ウェルカムパーティー台北延平RC分134,330円、台北延平RC移動費(バス・タクシー費)82,400円、二次会台北延平RC・福岡西RC分198,000円、ニコボックス振込料220円、日本のロータリー100周年記念バッジ14,000円。当

期支出合計は527,950円、当期収支差額803,050円、次期繰越収支差額は12,571,321円です。

貸借対照表

資産の部です。現金116,406円、三菱UFJ普通預金3,326,805円、三菱UFJ定期預金0円、三菱UFJ普通預金(米山)146,258円、三菱UFJ定期預金10,000,254円、貯蔵品151,050円、前払金1,743,948円、未収金8,000円、仮払金204,000円立替金0円、敷金2,132,928円、資産合計17,829,649円。三菱UFJ普通預金(ニコボックス)10,571,321円、三菱UFJ定期預金(ニコボックス・寄付金)1,000,000円、三菱UFJ定期預金(ニコボックス)0円、一般会計への一時貸付金1,000,000円ガバナー補佐普通預金232,594円、IM普通預金0円。資産合計が12,803,915円。総合計は30,633,564円です。

負債の部です。未払金0円、未払い金(カード)2,650,154円、預かり金0円、預り金(社会保険料等)85,045円、預り金(ニコボックス、ガバナー補佐口座)、前受金0円、一時借入金(ニコボックスより)1,000,000円、40周年事業基金10,000,000円、剰余金4,094,450円、前受金(米山)、仮受金、退職金積立金ともに0円、負債及び資本合計17,829,649円です。ニコボックス剰余金12,571,321円、ガバナー補佐会計剰余金232,594円、IM剰余金0円。負債及び資本合計12,803,915円、総合計30,633,564円です。

監査報告：森恒夫会計監査

監査報告をさせていただきます。令和2年1月17日に名古屋瑞穂RC事務所におきまして監査を行いました。名古屋瑞穂RCの令和元年7月1日より令和元年12月31日に係る中間収支決算書及び令和元年12月31日現在の貸借対照表について監査を行いました。監査の結果これら財務諸表は上記期間収支及び令和元年12月31日現在の財産の状況を適正に表示しているものと認めました。

次年度組織：山口哲司副幹事

委員会の構成表を作成しましたので、発表します。ご承認いただける方は拍手をお願い致します。(拍手)ありがとうございました。皆様ご自分のお名前を確認して頂き、次年度もRCの運営にご協力をお願い致します。



会長挨拶：関谷俊征会長

ありがとうございました。中間決算のご承認、ご理解いただくことと、次年度組織、委員会についてもご承認いただいたという事で、第4回クラブフォーラムを終了致します。

例会のご案内

■今週の行事 1月30日(木) 職場例会

時 間 : 12時30分～14時30分
場 所 : 熱田神宮会館

■次週の行事 2月5日(水) 4RC合同例会

時 間 : 12時～13時40分
場 所 : 名古屋マリノットアソシアホテル

2月6日(木) 振替により例会変更

■次々週卓話 2月13日(木)

テ ー マ : 新会員イニシエーションスピーチ
会 員 卓 話 : 安井 友康さん

2020～2021年度クラブ役員理事及び委員会構成表

会 長	湯澤 信雄	役 員	ク ラ ブ 奉 仕 委 員 長	馬場 将嘉	理 事
副 会 長	梅村 昌孝	役 員	職 業 奉 仕 委 員 長	鈴木 健司	理 事
会 長 エ レ ク ト	堀 慎治	役 員	社 会 奉 仕 委 員 長	松田 浩孝	理 事
直 前 会 長	関谷 俊征	役 員	国 際 奉 仕 委 員 長	鳥山 政明	理 事
幹 事	山口 哲司	役 員	青 少 年 奉 仕 委 員 長	近藤 茂弘	理 事
会 計	大嶽 達郎	役 員	会 員 増 強 及 び 維 持 委 員 長	鈴木 淑久	理 事
S ・ A ・ A	平野 好道	役 員	親 睦 活 動 委 員 長	星野 一郎	理 事
副 幹 事	田中 宏		R 情 報 ・ 研 修 委 員 長	安岡 克明	理 事
			会 場 委 員 長	湯澤 勇生	理 事
			R 財 団 委 員 長	亀井 直人	理 事
			長 期 ビ ジ ョ ン 委 員 長	松波 恒彦	理 事

奉 仕 区 分	委 員 会 名	委 員 長	副 委 員 長	委 員
ク ラ ブ 管 理 運 営	ク ラ ブ 奉 仕	馬場 将嘉	湯澤 勇生	原田 敬生 星野 一郎 村上 学 鈴木 淑久 安岡 克明
	出 席 ニコボックス	原田 敬生	花井 芳太郎	広瀬 弘幸 今川 知也 新見 光治 渡邊 将之 安井 友康
	親 睦 活 動	星野 一郎	鈴木 雅登	萩原 孝則 平安山 京太 新見 光治 鳥山 政明 渡邊 将之
	プ ロ グ ラ ム	村上 学	村瀬 俊高	入江 理 榎田 篤弘
	R 情 報 ・ 研 修	安岡 克明	鈴木 伸一	森 裕之 大嶽 達郎 田中 英雄
	会 場	湯澤 勇生	北岡 寿人	榎田 篤弘 村瀬 俊高 西川 徹也 岡部 光邦 杉山 裕一
会 員 増 強 及 び 維 持	会 員 増 強 及 び 維 持	鈴木 淑久	大嶽 達郎	泉 憲一 田中 宏 内田 久利
広 報	広 報	鈴木 実	萩原 孝則	平安山 京太 西川 徹也 岡部 光邦 鈴木 雅登
奉 仕 プ ロ ジ ェ ク ト	職 業 奉 仕	鈴木 健司	千 秋 季 頼	今川 知也 松井 善則 森 裕之 安井 友康 高村 博三
	社 会 奉 仕 環 境 奉 仕	松田 浩孝	長谷川 隆	岩田 修司 加納 裕 佐藤 善乙 鶴田 浩
	青 少 年 奉 仕 RAC・IAC	近藤 茂弘	RAC 鳥山 政明 IAC 本多 誠之	北岡 寿人 佐治 寛行 杉山 裕一 鈴木 圓三 渡辺 喜代彦
	国 際 奉 仕	鳥山 政明	本多 誠之 (延平班長)	野崎 洋二 酒井 俊光 田中 政雄
	R 財 団	亀井 直人	広瀬 弘幸	岩本 成郎 岩田 吉廣 越原 一郎 八木 沢幹夫
	米 山 奨 学	市岡 正蔵	入江 理	天野 正明 稲葉 徹 森 恒夫 長坂 邦雄
長 期 ビ ジ ョ ン	長 期 ビ ジ ョ ン	松波 恒彦	長瀬 憲八郎	堀 慎治 伊藤 豪 近藤 雄亮 田中 宏
I A C 年 次 大 会 実 行		湯澤 信雄	近藤 茂弘	花井 芳太郎 原田 敬生 村上 学 大嶽 達郎 鈴木 健司

会 計 監 査	森 恒夫
---------	------

第2760地区 出 向 者	近藤 雄亮⑧(地区諮問)⑥(地区指名委員)④(地区10年史編纂委員長) 山口 哲司⑥(インターアクト)市岡 正蔵②(米山奨学)近藤 茂弘②(資金推進)
------------------	--

日本ロータリー 出 向 者	近藤 雄亮⑧(ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会(ロータリー希望の風奨学金)委員)
------------------	---

次期RI会長が2020-21年度会長テーマを発表

国際ロータリー会長エレクトであるホルガー・クナーク氏（ドイツ、ヘルツォークトゥム・ラウエンブルク・メルン・ロータリークラブ所属）が、1月20日、サンディエゴ（米国カリフォルニア州）で開催中の国際協議会で講演し、人生や地域社会を豊かにするためにロータリーが与える機会をとらえるよう呼びかけました。

クナーク会長エレクトは、次期地区ガバナーに向けて2020-21年度会長テーマ「ロータリーは機会の扉を開く」を発表。ロータリーとは、クラブに入会するというだけでなく、「無限の機会への招待」であるとクナーク氏は述べました。

7月1日に会長に就任するクナーク氏は、奉仕プロジェクトを通じて会員自身や受益者の人生をより豊かにするための道を開くのがロータリーであると力説しました。

「奉仕の行いは、その大小にかかわらず、助けを必要とする人たちのために機会を生み出すものであると、私たちは信じている」とクナーク氏。また、ロータリーはリーダーシップの機会、奉仕のアイデアを実行に移すために世界を旅する機会、そして生涯続く友情の絆を築く機会を与えてくれる、クナーク氏は述べます。「私たちのあらゆる活動が、どこかで、誰かのために機会の扉を開いています」

未来のための変革

クナーク氏はさらに、ロータリーの発展のために変革を受け入れるよう会員に強く促しました。会員数を増やすために数字にこだわるのではなく、持続可能かつ有機的なたちで成長できる方法を考えるよう求め、現会員を維持し、クラブにふさわしい新会員を募ることにクラブが注力すべきであると述べました。

「新会員を、会員数を増やす人員であるかのように考え、やがて忘れてしまうというのは止める必要があります」と述べたクナーク氏。「どの新会員も、私たちを少しだけ変えてくれます。新しい視野と経験をもたらしてくれます。このような絶え間ない変化を受け入れる必要があります。新会員から学ぶことで、私たちはより強くなります」

ロータリーの行動計画はクラブの進化を導く羅針盤であると指摘したクナーク氏は、全クラブが少なくとも年1回、戦略計画会議を開くことを勧めました。この会議で、5年後にどのようなクラブになりたいかを自問し、クラブが会員により多くの価値をもたらす方法を考えるべきであると話します。

クナーク氏はまた、リーダー職にもっと多くの女性が就くこと、クラブの結成と運営にローターアクターが不可欠な役割を果たすこと、ロータリー会員であることの意味を考え直すこと、若い人たちに新クラブの設計者になってもらうことを提唱しました。

「新しいアプローチに心を開かなくてはなりません。若い人たちのためにユニークな新クラブをつくることは、解決策の一部にすぎません」とクナーク会長エレクト。「自分たちに一番合うロータリーの体験はどのようなものかを、ローターアクターたち自らに決めてもらおうではありませんか。新クラブの設計者は、若い人たちであるべきです」

ロータリー会員が変化を受け入れることの必要性を強調した上で、「時間は私たちのためにスローダウンしてくれない」とクナーク氏は訴えます。「私たちは急速な変化に負けません。この機会をとらえてロータリーを成長させ、より強く、適応力を高め、中核的価値観により沿ったロータリーとなるのです」

未来の君主と会う：グレン・アダムス

昨年春、85歳になられた日本の明仁天皇（現上皇）が退位されたとき、40年前に皇居で謁見したときの記憶がよみがえってきた。

1978年4月、私はロータリーが派遣する6人の研究グループ交換に参加した。その後にフィラデルフィア地域にある私たちの地区に日本から代表団が派遣される予定になっていた。日本でのロータリーの地位は高く、6週間の滞在中、私たちは一流のもてなしを受けた：宿泊は四つ星ホテル、豪華な食事、フロントフェンダーに小さな旗のついた黒いリムジンでの移動。農地や工場、東京の築地魚市場（当時は世界最大）、国会議事堂を見学した。昔ながらの船で江戸川下りをしたときには、そこで釣った魚をさばき、油で揚げた料理が昼食だった。最高裁判所では、判事が自分の法服を喜んで私たちに着させてくれた。相撲部屋では、ビールと魚2匹、ワカメ、ハマチの刺身、出汁、豆腐、餅、麺という典型的な力士の昼食をいただいた。

一番思い出深い遠足は、東京からの電車で始まった。集落や田園を走り抜け、山の近くまで来たところで、3台の黒タクに分乗。険しく曲がりくねった道を上った後、ケーブルカーに乗り換えて広大な杉の森を越え、青々とした芦ノ湖で下車。17世紀の船を模した遊覧船で湖を渡った。翌朝の日の出時には、雪を冠した富士山の、息を飲むような情景にうっとりした。

当時はまだ皇太子だった明仁殿下（父上であった昭和天皇はその後11年間君臨された）との待望の謁見は、皇居内の松材パネルがほどこされた部屋で行われた。皇太子が入室されると、ロータリーのホストの方々が恭しくお辞儀をしたので、皇室マナーの速習講座のごとく、私たちもそれに倣った。明仁殿下は無地のブルーグレイのスーツと白いシャツ、濃い色のネクタイ姿。英語は流暢だが言葉を慎重に選びながら、穏やかな口調でお話しになった。当時の私の日記にはこう書かれている。「私たちが年齢順に紹介されると、私たち一人ひとりの顔をまっすぐ、ひるまじりに見据えられた」

私たちは、漆黒塗のテーブル2台の近くにあった赤い椅子に腰かけた。灰皿が4つ、皇室のマークの入ったマッチ箱、そして銀のトレイの上にたばこのケースが置かれていたが、謁見中に喫煙した人がいたかどうかは覚えていない。対話をしている間、召使いが菓子と緑茶をお盆で運んできたが、その度に皇太子殿下に直接顔を向けることなくお辞儀をした。日本の印象について殿下に尋ねられたので、日本人の礼儀正しさ、東京の清潔さ、見学した歴史スポット、食した日本食について話した。日記にはこう記されている。「皇太子は、終始ほとんど表情を変えることがなかった」

私たちがフィラデルフィアから来たことをご存知だった皇太子殿下は、自身が19歳だった1953年にフィラデルフィアを訪問された時の思い出話をしてくださった。日本人にとっての主な懸念は何だと思われるかと私が尋ねると、伝統、歴史、文化を保存しつつ、それを現代のトレンドやテクノロジーと結びつけることだとお答えになられた。

互いの幸運を祈り、さらにお辞儀をした後で、謁見は終了した。この対話にテーマがあったとしたら、それは現代において古来の慣習を維持すること、つまり、明仁上皇が繰り返しお使いになった「調和」という言葉がふさわしいだろう。